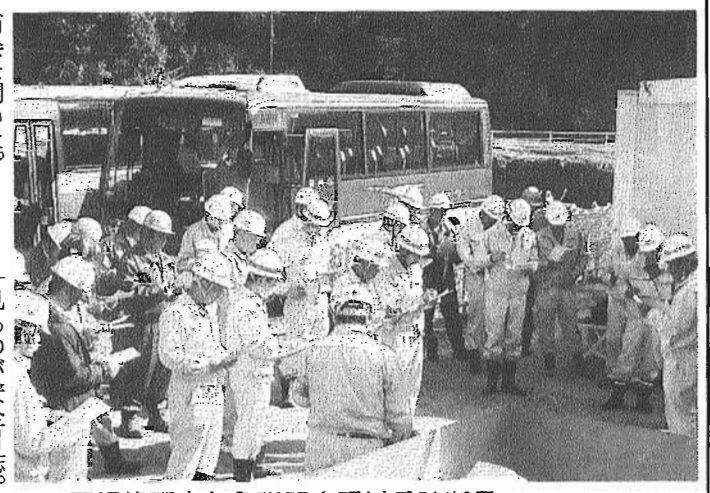


重大災害ゼロの気配へ

県建設業協会出水支部パト



現場代理人から説明を受ける診断員
＝出水市の現場で

さんの協力をお願いしたい」と要請した。

宝満厚氏川内労働基準監督署第二課長は診断総評・安全講話の中で「安全はやりつ放しをしないことで指示したら必ず追跡し、その後確認することだ。危険予知活動や安全日誌は必ず記録し、皆で一緒にやるんだ」という共通の理解が重要だ」と話した。

診断発表は片角保成理事(土木1班)、鶴長親雄大理事(土木2班)、大堂正剛理事(建築班)が発注者側から溝上諭典出水土木事務所次長、中原昭伸出水市工事検査監、牛之浜時春阿久根市都市建設課係長の診断発表もあった。鶴長支部事務委員長が閉会のことを述べた。

県建設業協会屋久島支部パト

年度末へ十分注意を

県建設業協会屋久島支部(濱崎典弘支部長)は20日、管内現場3カ所を対象にした安全管理・雇用改善パトロールを実施した。パトロールには、会員、発注機関関係者ら30人が参加して、労働災害絶滅に向け安全管理の徹底を呼び掛けた。

同日は、街路工事安房1工区(岩山建設)、健康の森公園整備(第2工区)(南太陽工業)、安房主要幹線道路整備(南武田建設)の3現場でパトロールを展開し、現場事務所内外の整理整頓、

県表具内装組合連合会 新支部長に永井氏

新支部長に永井氏



永井勝二郎新支部長

県表具内装組合連合会(鹿児島市支部)は20日、鹿児島市のパレスイン鹿児島で16年度第13回定期総会を開き、全表連全国大会や九表連大会への参加などを柱とする新年度事業計画を決めたほか、任期満了に伴う役員改選では、永井勝二郎氏を選出した。

総会では、初めに物故者に黙とうを捧げた後、濱口支部長が「今こそ一致団結して良いムードで盛り上がるような組合でなければならぬ。組合員間の連携を密にして頑張っていこう」と挨拶。

続いて、竹岡隆氏(たけおか内装表具)を議長に議事に入り、15年度事業経過・決算報告、16年度事業計画・予算案などを審議し、原案通り可決した。

第2回官公需問題懇談会

発注制度の周知徹底を

県中小企業団体中央会、鹿児島市の県市町村自治会館で15年度第2回官公需問題懇談会を開き、官公需施策の見直しに対する意見交換や講演などを行った。

関係書類の記入状況や安全管理対策等を念頭に点検した。

また、パト終了後行われた反省会では、安全管理や書類など整備され、概ね良好と診断されたものの、「工程管理が厳しくない」などの指摘も出た。年度末に向け、安全面に十分注意してもらいたい」と無事故での作業を訴えた。



さまざまな意見が出された懇談会
＝鹿児島市の県市町村自治会館で

県都市計画審議会

マスタープラン可決

県都市計画審議会は19日、鹿児島市のホテルウエルビューで、第130回会合を開き、根占都市計画区域マスタープランの方針決定について等、17議案を審議した結果、全て原案通り可決承認された。

審議会では、事務局が中種子、南種子、根占、吉田、知覧、川辺、東市来、郡山、樋脇、加治木、始良、栗野、吉松、牧園、大根占の15区域のマスタープランの方針決定について説明。委員らから特に指摘事項もなく、全て原案通り可決承認された。

市街地再開発で研修会

北田町11月以降に着工

鹿屋建友会(小林正義代表理事)は18日、鹿屋市北田町の市街地再開発事業の研修会を開いた。

冒頭、小林理事長が「再開発が最終段階になってきた中で、昨年発足した4団体での勉強会として講師の方々に話を聞いていただき、前にも挨拶した。」と挨拶した。

次いで、新田進地域振興整備公団鹿屋特定開発事業所長が、同公団と市街地再開発事業の概要や事業計画などを説明した。

研修会後は、鹿屋建友会の定例会と懇親会を開き、親睦を深めた。

北田町市街地再開発を学んだ研修会。鹿屋市の市街地再開発事業の概要や事業計画などを説明した。